

## 「子ども食堂」 （おかさきこども園）

### ◇ おかさきこども園の「子ども食堂」は

おかさきこども園は平成 29（2017）年度から月に 1 度、「子ども食堂」を始めました。食事は土曜日の昼食で、当園の職員が園の厨房を使って食事を作っています。子どもは誰でも無料、おとなは低額料金を頂いています。

### ◇ 子ども食堂って？

そもそも「子ども食堂」とは、子どもの貧困が社会問題となり、一人親世帯の貧困問題、中でも給食のない日に昼食が食べられない子がいること等をきっかけに全国に起こってきたボランティア活動です。全国では主として、食事を作るのはボランティアが中心で食材の寄付や運営費の寄付で賄われているところが多いようです。

今わが国で行われている「子ども食堂」は、子供に食事を提供することだけが目的かというところではありません。社会から孤立した単身高齢者や引きこもりの若者など、地域には様々なニーズがあります。「子ども食堂」から出発しても、「食をきっかけにして地域で様々な支援を必要とする人の居場所づくり」といったものです。行政の下で提供される固定的な制度を運用するのではなく、主として民間で行い、柔軟な考えのもとに、現代が抱える複合的な問題を掘り起こし、それに対処できるものと期待が寄せられています。

### ◇ 「貧困な〇〇」というレッテルは疑問

私達も究極は貧困の子供に届けたいと思っています。しかし「貧困の子供たち」だけに焦点を当ててその対象の人だけを集めることは、そこにくる人＝貧困というレッテルが張られる可能性があるわけですから適切ではありません。貧困であることを公にすることなく一般化しながら、しかし、本当に困っている人たちに手を差し伸べることができるというのが、私たちの願いです。

そこで従来から行っていた「おひさま広場」、これは地域の親子を対象として親子でのふれあいや楽しみを共有できるものをテーマにした活動ですが、これと一緒に開催することにしました。

### ◇ 社会福祉法人として地域に向けた活動を

社会福祉法の改正により、社会福祉法人に対して「地域における公益的な取組の責務」が課せられることとなりました。社会福祉法人松溪会の各園においてもすでにいくつかの取り組みをしていますが、おかさきこども園（開始当時は岡崎保育園）では、平成 29 年 5 月より月に 1 回、この「子ども食堂」を実施しています。今は、こども園の地域活動として実施していますが、今後、他の団体の協力を得ることやボランティアの協力を仰ぐなどしながら、この活動が地道に継続していくことをめざしていきたいと思えます。（2018 年 12 月）